

中学校特別支援学級 教科別の指導「国語」学習指導案

1 題材名 「漢字を使って自分の言葉で表現しよう」

2 題材について

(1) 学級及び生徒の実態

本学級の生徒は、自分で取り組む学習や活動について意欲的で、褒められることを期待して頑張ることができる。また見通しをもち、何をやるかわかることで学習への意欲が高まる学級である。話すことは全員好きであるが、人前で発表することに自信がない生徒もいる。書字は、マス目や罫線に合わせて書くことができる生徒から、なぞり書きが難しい生徒まで、実態に幅がある。そのため、国語の時間は個々で進める学習内容と共通で進める学習内容に分けて授業展開をしている。生徒の実態に応じたスモールステップを考えて学習に取り組んでいる。

(2) 題材について

本題材では、夏休み明けから漢字を覚えたいという生徒の学習意欲をふまえ、漢字に対する興味関心を高めながら楽しく自信をもって学習できる内容を考えた。漢字をただ覚えるのではなく、音と形と意味を理解し、それを活用し人前で発表できるようにした。生徒が自信をもって発言や発表ができるように、生徒の身近な生活で使われる言葉、友達や教師の名前、好きなキャラクターや趣味を取り入れた課題プリントを作成した。また、課題プリントは、「私の漢字辞典」という形にして、積み重ねて学習してきたことがわかるようにした。

(3) 指導・支援について

生徒が「できる・わかる」学習内容を多く取り入れるようにする。生徒に身近な言葉を使って学習に取り組むことにより、漢字に親しみ、漢字を活用して表現する力を高められるようにする。その際、生徒に合わせた助言やヒントを提示し、生徒に達成感が得られるようにする。また、繰り返し学習することで基礎的基本的な学力を定着させる。

具体的な支援としては、生徒の理解に応じた言葉のかけ方に配慮しつつ、視覚支援では資料の文字を大きくし、行間をとり、読みやすくする。生徒によっては漢字にふりがなをつける。また、生徒が見通しをもって授業に臨めるように、本時の学習内容と学習の流れを黒板に提示するとともに、生徒に手本や実物を見せ、具体的に説明してから活動に移るようにする。そして、少しでもできたことは大いに褒めて認めることで、生徒の自己肯定感や次の学習への意欲を高めるようにする。

3 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「自己尊重の感情」）

学級での対話や学び合いを通して、自分の思いや考えを適切に伝えることよき気付くとともに、設定した学習の目標に到達することで達成感を感じられるようにする。

4 人権教育上の視点

(1) ありのままの自分を素直に、肯定的に受け止める態度を身に付けている。（価値・態度）

5 題材の目標

- (1) 漢字に興味関心をもち、覚えて答えることができる。
- (2) 漢字を使って文を作ることができる。
- (3) 自分で作った文を発表することができる。

・言語コミュニケーション能力を高める。 ・対人関係の形成や拡大ができる。
 ・環境認知能力を高める。 ・生活スキルを向上できる。 ※年間を通して取り組む。

教科別の指導「国語」：社会（学校生活）で活用できる言語能力を身に付けさせる。

過程	学習内容	時間
1	わたしの漢字辞典を作ろう。 ・課題プリントから漢字を探し、読み方や書き順、意味を確認する。	6
2 本時	漢字を使って文を作ろう。（3／6） ・課題プリントに出てきた漢字を使い、文を作って発表する。	6
3	会話や話し合いをしよう。 ・漢字を使って会話文を作って話し合う。	6

教科別の指導「国語」で漢字を使って作文をし、みんなの前で発表する。

教科等を合わせた指導「作業学習」で、みんなと協力して活動することができる。

領域別の指導「自立活動」で交流学級の生徒と活動したり会話をしたりすることができる。

6 本時の学習

(1) 共通目標

- ・資料を読み、漢字を発表することができる。
- ・漢字を使って文を作ることができる。

(2) 展開

◎人権教育上の配慮

時間	学習活動	○生徒の活動 ■予想される生徒の反応 □指導者の主な指示・発語等 ※支援の手立て *評価の観点	資料等				
1分	1 はじめの挨拶をする。	□「授業を始めます。挨拶をします。」 ○生徒の挨拶で授業を始める。 ※姿勢を正しくして、みんなと声を合わせて挨拶ができるようにする。(T1・T2) ※机の上に学習の準備ができていないか(鉛筆、赤ペン、消しゴム)確認する。(T1・T2)					
導入4分	2 本時の学習内容を聞く。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <tr> <td style="width: 25%;">A</td> <td style="width: 25%;">B</td> <td style="width: 25%;">C</td> <td style="width: 25%;">D</td> </tr> </table> ■他に注意を向けている。 ※黒板前に立ち、注意を向かせる。(T1・T2) □本時の学習内容を説明する。 「今日の国語の授業は[漢字を使って自分の言葉で表現しよう]です。授業の流れを説明します。」 ○説明を聞く。	A	B	C	D	漢字辞典
A	B	C	D				

展開 5分	3 漢字で書かれている箇所 に印をつける。	<input type="checkbox"/> 読み物資料を配布する。 「読み物資料から漢字を見つけ、赤ペンで印をつけます。 読めない漢字があったら質問してください。」				読み物資料 タイマー
		■ 読めない漢字を質問する。 ※質問に対して答える。 (T2) ○ 資料を読み、漢字に印を付ける。	■ 何をするか確認する。 ※わからないことに対して答える。 (T2) ○ 資料を読み、漢字に印を付ける。	■ 何をするか確認する。 ※わからないことに対して答える。 (T1) ○ 資料を読み、漢字に印を付ける。	■ 読めない漢字を質問する。 ※質問に対して答える。 (T1) ○ 資料を読み、漢字に印を付ける。	
8分	4 資料を読み、 出てきた漢字を 発表する。	<input type="checkbox"/> 資料を読んでチェックした漢字を発表する。 「資料に出てきた漢字を発表してください。」				
		※みんなに聞こえる声量で発表するように言葉を掛ける。 (T1・T2) ○ ☆発表する。	■ 他に注意を向ける。 ※やる気の出る言葉を掛ける。 (T1・T2) ○ ☆発表する。 ※読むのにつまったら助言する。 (T2)	■ 緊張して下を向く。 ※やる気の出る言葉を掛ける。 (T1・T2) ○ ☆発表する。 ※読むのにつまったら助言する。 (T2)	※みんなに聞こえる声量で発表するように言葉を掛ける。 (T1・T2) ○ ☆発表する。	
		*資料を読み、漢字を発表することができたか。				
		※発表を聞くように声を掛ける。 (T1・T2) ◎ 自信がもてるように、発表できたことを称賛する。 (価値・態度)	※発表を聞くように声を掛ける。 (T1・T2) ◎ 自信がもてるように、発表できたことを称賛する。 (価値・態度)	※発表を聞くように声を掛ける。 (T1・T2) ◎ 自信がもてるように、発表できたことを称賛する。 (価値・態度)	※発表を聞くように声を掛ける。 (T1・T2) ◎ 自信がもてるように、発表できたことを称賛する。 (価値・態度)	
20分	5 資料から出てきた漢字を使って文を作る。	<input type="checkbox"/> 出てきた漢字を使って文を作る。 「自分で漢字を使って文を作りましょう。」				
		※4つ以上漢字を使うことを促す。 (T2) ○ 文を作る。 ■ 教師に質問する。 ※質問に対して答える。 (T2)	※どこに書き入れるか示す。 (T2) ○ 漢字を書き入れて文を作る。 ※いくつ漢字を書くことができたか数える。 (T2)	※どんな文を書くか聞き取り助言する。 (T1) ○ 文を作る。 ※漢字の部分を分解して書いて見せる。 (T1) ※いくつ漢字を書くことができたか数える。 (T1)	※6つ以上漢字を使うことを促す。 (T1) ○ 文を作る。 ■ 教師に質問する。 ※質問に対して答える。 (T1)	
						ホワイト ボード×2 マーカー ×2

7 分	6 作った文を 発表する。	*漢字を 使って文を作 ることができたか。				
		※頑張りを認 める。(T2)	※頑張りを認 める。(T2)	※頑張りを認 める。(T1)	※頑張りを認 める。(T1)	
		□漢字を使った文を発表する。 「作った文を発表しましょう。」				
		※やる気の出 る言葉をか ける。 (T1・T2) ○☆発表する。	※やる気の出 る言葉をか ける。 (T1・T2) ○☆発表する。	※やる気の出 る言葉をか ける。 (T1・T2) ○☆発表する。	※やる気の出 る言葉をか ける。 (T1・T2) ○☆発表する。	
		*漢字を4 つ使って 文を作り、 発表する ことがで きたか。	※読むのに詰 まったら助 言する。 (T2) ■他に注意を 向ける。	※読むのに詰 まったら助 言する。 (T1) ■他に注意を 向ける。	*漢字を6 つ使って 文を作り、 発表する ことがで きたか。	
		※発表を聞く ように声を かける。 (T1・T2) ◎自信がもて るように、 発表できた ことを称賛 する。 (価値・態度)	※発表を聞く ように声を かける。 (T1・T2) ◎自信がもて るように、 発表できた ことを称賛 する。 (価値・態度)	※発表を聞く ように声を かける。 (T1・T2) ◎自信がもて るように、 発表できた ことを称賛 する。 (価値・態度)	※発表を聞く ように声を かける。 (T1・T2) ◎自信がもて るように、 発表できた ことを称賛 する。 (価値・態度)	
ま と め 3 分	7 まとめをする。	□今日の目標を達成できたか確認する。 「文を作り発表することができましたか。」				
		○※頑張って学習したことをみんなで称賛する。				
2 分	8 終わりの挨拶 をする。	○※本時で学習した内容を「私の漢字辞典」に綴じ、見 て振り返ることができるようにする。				漢字辞典
		□「これで授業を終わります。挨拶をします。」 ○生徒の挨拶で授業を終わる。 ※姿勢を正しくして、みんなと声を合わせて挨拶ができる ようにする。(T1・2)				

7 評価

共通目標に係る評価

- ・資料を読み、漢字を発表することができたか。
- ・漢字を使って文を作ることができたか。